

ビック東海 CATVサービスエリアでの FTTH 事業の開始について

2006年8月28日

株式会社 ビック 東海
(JASDAQコード; 2306)

株式会社ビック東海(本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:早川博己、以下 ビック東海)は、本年10月より静岡県および、子会社の厚木伊勢原ケーブルネットワーク株式会社が厚木市、株式会社イースト・コミュニケーションズが千葉市で、自社CATV事業用の光ファイバー網を活用した戸建て、集合住宅向けのFTTHサービスの提供を開始します。

ビック東海は、CATV事業において、18年7月末現在で、放送で29万件、CATVインターネットで7万7千件の顧客にサービスを提供していますが、CATVサービスエリアにおいて、CATV幹線部分を光ファイバーとする「光幹線化」と、配信帯域を広げる「広帯域化」を完了しており、CATV-FTTHサービスではこの高品質な配信ネットワークを最大限利用していきます。自社で保有するCATV光幹線はグループ全体で731kmに及んでおり、FTTHサービスではこの幹線の遊休光芯線を利用いたしますので、設備投資額を大幅に抑えることができます。またCATV幹線はさらにJPIXにつながる総距離1,531kmの光幹線『情報ボックス』に接続されておりますので、ラストワンマイルを構築するのみでFTTHのラインが完成致します。

CATV-FTTHサービスでは、お客様のお宅に光ファイバーを接続することで、1ギガビットの超高速インターネットが実現します。さらに従来の固定電話に替わるIP電話「光プライマリー電話」も提供してまいります。これにデジタル多チャンネル放送を加えることでいわゆるトリプルプレイが実現し、CATVネットワークによる高品質な情報通信サービスをワンストップで提供してまいります。

ビック東海が提供する光プライマリー電話は一般電話番号が使用でき、現在利用している電話番号の継続利用も可能です。110番・119番などの緊急通報や着信番号表示などの機能面も充実しております。また価格もNTTと比較し大幅に割安な設定となっており、FTTHインターネットとの相乗効果によって、普及拡大を図ってまいります。

さらにデジタル放送サービスを加えたトリプルプレイにおいては、セット割引を適用しますので、一層競争力のある価格となっております。放送サービスはCATV事業の基軸でありますので、チャンネルの数やハイビジョン放送を配信していることなど、品質面では追随を許さない商品力を持っております。

このFTTHサービスの設備投資は、子会社の株式会社いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ、熊谷ケーブルテレビ株式会社も含めて、平成23年度末までに約150億円、顧客獲得件数は約10万件を見込んでおります。

以上のとおり、効率的な顧客募集とエリア拡張を行うことにより、FTTH事業及び弊社業容の拡大に注力してまいります。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ビック東海
CATV事業部 営業部 営業企画課
TEL:055-922-4701
担当:望月